

消防法が改正され、住宅用火災警報器などの設置が義務付けられました！

消防法が改正され、新築住宅には平成18年6月1日から、既存住宅には市町村条例(富山県内では、平成20年6月1日)で定める日から住宅用火災警報器の設置が義務付けられることとなりました。

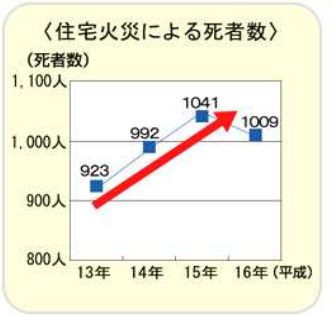
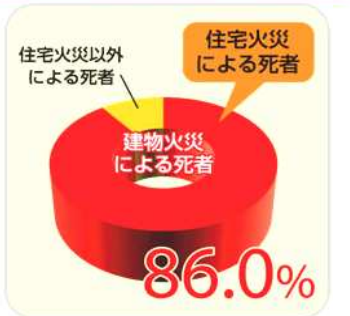
なぜ住宅に警報機が必要なのか？

ご存知でしたか？

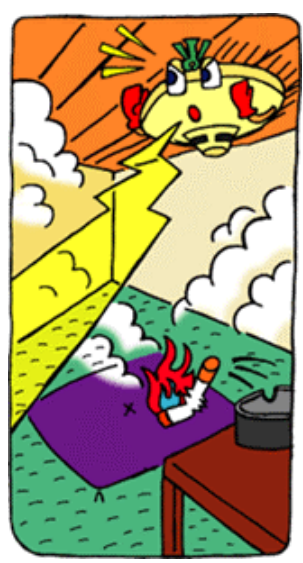
おそろしい...住宅火災

平成16年火災の状況(消防庁)による

死亡原因の約6割が逃げ遅れ 住宅火災の死者は約9割 住宅火災による死者数は増加中 死者の約6割が65歳以上の高齢者



「地震・カミナリ・火事・おやし」...もう死語と化しているかもしれませんが、怖い物の例えとしてよく使われる言葉ですね。その中で自然災害の「地震とカミナリ」は予防対策は出来ても 防ぐ事は出来ません。しかし、「火事」は人災がほとんどなのです。防ぐ事が出来るはずなのに 新聞で火事の記事を見ない日は無いぐらいに火事が起きています。何もかも燃やし尽くしてしまう火事は時に人の命まで奪ってしまうのです。出来る事なら家事が起きない方がいい！けれど、もし火事にあってしまったら...の時を考える必要があるようです。



<火災の原因・・・例1>

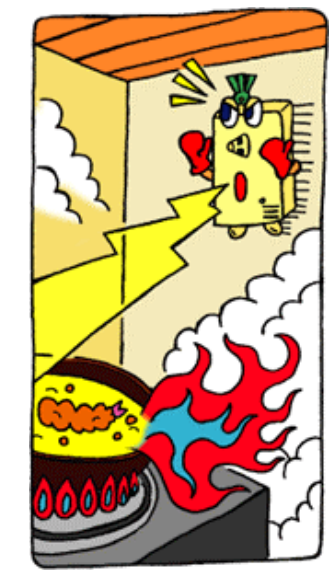
- ・タバコを吸っている時に、近くにあった座布団にタバコの火が落ちたことに気が付かなかった。火災警報器が作動し、隣家の主婦がこの警報音に気が付き、座布団とゴザが少し燃えたばかりで済みました。
- ・電気ストーブに衣類が落ちて着火。火災警報器が作動し、火災に気づいたためばやで済みました。
- ・仏壇の線香が座布団の上に落ちて着火。火災警報器が作動し、早く発見できたため大事に至りませんでした。



煙に反応するタイプ・熱に反応するタイプ・ガスなどに反応するタイプなどがあり、反応したときに大きな音を出します。耳の不自由な方のために光で知らせるタイプもあります。

<火災の原因・・・例2>

- ・揚げ物をしていた時に来客があり、ガスこんろの火を消さずにその場を離れて対応したため、火がついたままであることを忘れてしまいました。火災警報器が作動したので火災に気が付き、隣家に知らせたので、隣家の男性が自宅の消火器で消火しました。
- ・煮物をしていることを忘れて火をつけたまま鍋を放置。火災警報器が作動し、異常に気づき鍋を焦がしただけで済みました。
- ・ガステーブルの火が布巾に引火。火災警報器が作動し、火災に気が付きばやで済みました。



どこに取り付けるの？



●は富山県では設置が義務付けられている場所です。
●は富山県では設置をすすめている場所です。
火災警報器は天井や壁に取り付けることができます。(社)日本火災報知機工業会では全ての居所に取り付けることをおすすめしています

警報機は音がなるだけ！火は消してくれない！

住宅火災から大切なご家族の命を守るために火災警報器は重要な役割を果たしています。火事になってからでは遅すぎるのです。火事になる前に気が付くことが大事なのです。



悪質な訪問販売にご注意！

住宅用火災警報器等の設置義務化を契機として、不適正な価格・無理強い販売などを行う業者にご注意ください。(火災警報器は、クーリングオフの対象です。)

(株)アキ施工例・・・NO2 小矢部市赤倉 A邸



お料理好きの奥様こだわりのキッチン。収納棚や窓の高さなど細部にまでこだわり、オシャレなキッチンを実現しました。

無垢の床(ホワイトパイン)と白い壁に 大きな梁が見える天井と真っ赤なドアがアクセント。イメージ画そのままの空間です。



リビングからつながるフリースペース。大きなドアを開けば お庭と一体の空間です。お気に入りの家具やグリーンを飾ってリビングとは違うつろぎの空間が出来ました。

